

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	科学技術英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0130		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		環境都市工学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		なし					
担当教員		山本 隆広					
到達目標							
(科目コード：51501, 英語名：English for Science and Technology) (授業計画の週は回と読替えること) ①英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現をマスターする。b3(40%) ② 英文の構文解析を行い、書かれている内容を理解できる。b3(30%)③簡単な技術的文章の英語訳ができる。b3(30%)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安	
評価項目1		英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現をマスターする。		英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現をおおむねマスターする。		英文概要の構成を理解し、使用頻度の高い表現を少しマスターする。	
評価項目2		英文の構文解析を行い、書かれている内容を理解できる。		英文の構文解析を行い、書かれている内容をおおむね理解できる。		英文の構文解析を行い、書かれている内容を少し理解できる。	
評価項目3		簡単な技術的文章の英語訳ができる。		簡単な技術的文章の英語訳がおおむねできる。		簡単な技術的文章の英語訳が少しできる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		科学技術英語は、文学英語と異なり、必要十分な内容を決まり文句で簡潔明確に伝える英語である。しかし、科学技術英語が使われる場合は、技術説明、カスタマーサービス、マニュアル、技術報告書、論文、照会・商談等多岐にわたり、言い回しや数学的、科学技術的表現も千差万別である。この授業では、時間的制約を考えて、英文科学技術論文の書き方、特に英文概要を作成するための基礎を学習する。					
授業の進め方・方法							
注意点		英和、和英中辞典は必ず必要です。授業には必ず持参すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	英語論文の書き方（1）		左記のとおり		
		2週	英語論文の書き方（2）		左記のとおり		
		3週	英語論文の書き方（3）		左記のとおり		
		4週	五文型（1回目）		左記のとおり		
		5週	五文型（2回目）		左記のとおり		
		6週	準動詞		左記のとおり		
		7週	関係詞		左記のとおり		
		8週	接続詞		左記のとおり		
	2ndQ	9週	中間試験		左記のとおり		
		10週	英文概要の構文分析		左記のとおり		
		11週	英文概要の定型的表現方法		左記のとおり		
		12週	和文概要の作成		左記のとおり		
		13週	英文概要の作成 1		左記のとおり		
		14週	英文概要の作成 2		左記のとおり		
		15週	英文概要の作成 3		左記のとおり		
		16週	期末試験 17週: 試験解説・発展授業				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前11,前12,前13,前14,前15,前16	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前11,前12,前13,前14,前15,前16	

				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合

	中間試験	期末試験	レポート	合計
総合評価割合	30	40	30	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	30	40	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0